

令和4年度  
事業報告書

社会福祉法人鳥取県共同募金会



# 令和4年度 事業報告書

## 目次

【はじめに】	1
1 適切な組織運営	1
(1) 役員会等の開催	
ア 評議員会の開催	
イ 理事会の開催	
ウ 評議員選任・解任委員会の開催	
エ 配分委員会の開催	
オ 監事会の開催	
(2) 中央、ブロック会議等への参加	
(3) 市町村共同募金委員会との連携	
ア 担当者会議の開催	
イ 募金運動資材の調達	
2 募金活動の推進	5
(1) 募金目標額の設定と募金実績	
(2) 一般募金の取組み	
(3) 募金運動の期間拡大の取組み（つかいみちを選べる募金助成）	
(4) 税制上の優遇措置の取扱い	
3 寄付金による助成	6
(1) 助成決定	
ア 一般募金のうち物品寄付による助成	
(2) 歳末たすけあい運動	
ア 地域歳末たすけあい運動	
イ 第72回NHK歳末たすけあい運動	
(3) 本県出身のハンセン病療養所入所者へのお見舞い	
ア ハンセン病療養所の訪問	
イ 見舞金の贈呈	
(4) 災害見舞金の交付	
(5) 災害等準備金積立金取崩し金助成状況	
ア 「安心・安全なまちづくり支援事業助成」防犯ブザー贈呈事業	
(6) 共同募金以外の寄付による助成	
ア 企業等からの寄付	
イ 中央共同募金会を通じた寄付（全国キャンペーン）	
(7) 助成事業の調査	

4	広報・啓発活動の推進	16
	(1) 初日行事・赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式の実施	
	(2) 街頭募金の実施	
	(3) 「募金ボランティアの手引き」の作成	
	(4) 戸別配布用チラシの作成	
	(5) 報道機関へテレビ・ラジオスポット放映・放送の素材提供	
	(6) 地方新聞紙面への広告掲載	
	(7) 赤い羽根データベース「はねっと」の活用	
	(8) 助成結果の公表	
	(9) その他	
5	企業との連携強化	17
	(1) 自動販売機を活用した募金寄付	
	ア 自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置	
	イ 「鳥取県共同募金会支援自動販売機」の設置	
	(2) ANAによる募金箱の設置協力	
6	災害等準備金及び災害たすけあい運動	17
	(1) 災害等準備金の運営	
	ア 災害等準備金積立状況	
	イ 豪雨災害等に係る災害等準備金の拠出	
	(2) 義援金の取り次ぎと送金	
7	顕彰事業	18
	(1) 県共同募金会会長表彰	
	(2) 県知事表彰	
	(3) 厚生労働大臣表彰	
8	民間資金助成事業への協力	18
	(1) (公財) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦	

## 【はじめに】

新型コロナウイルス感染症が変異を繰り返し収束が見えない中、令和4年度の募金活動は、感染防止対策を十分に講じた上で展開するとともに、助成事業についても、新型コロナウイルスの影響による事業計画の変更等に柔軟に対応し、それに伴う助成金の執行残額を次年度に繰越して使用することを可能にするなど、市町村共同募金委員会と連携しながら、概ね例年どおり実施することができた。

募金活動については、コロナ禍によりイベント等が自粛・縮小される中、感染防止対策を講じながら戸別募金や法人募金に取り組むとともに、中央共同募金会が主唱する全国キャンペーンにも参加して募金額の確保に努めたが、募金実績は118百万円余、目標に対し98.1%に留まった。

助成事業については、計画の一部変更などにも柔軟に対応しながら社会福祉協議会が行う様々な地域福祉活動、またNPO法人や団体等が行う地域福祉活動を支援した。

特に、中央共同募金会や全国の共同募金会と協働して実施した全国キャンペーンでは、コロナ禍にあって困難を抱える人々や感染対策をとりながら地域に密着した多様な活動を実施している団体に対して、30件、8,500千円の助成を行った。

### 1 適切な組織運営

県民に対する説明責任を果たし地域社会に貢献する法人として、ホームページ等により情報の提供・公開を行い、事業運営の透明性の確保、適正な会務の運営に努めた。

また、現況報告書や財務諸表等の重要な情報については、所轄庁（県福祉監査指導課）を通じて、全国的なデータベース（WAMネット）に公開した。

#### (1) 役員会等の開催

##### ア 評議員会の開催〔定数 26名〕

〔任期：令和3年6月28日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで〕

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第214回 令和4年6月28日 福祉人材研修センター 出席 評議員 19名 監 事 2名	1 令和3年度事業報告（案）及び決算（案）について	原案のとおり承認
第215回 令和4年7月29日 福祉人材研修センター 出席 評議員 17名 監 事 1名	1 令和4年度共同募金助成計画（案）及び目標額（案）について 2 令和4年度全国キャンペーンについて 3 令和4年度「つかいみちを選べる募金」助成事業取扱要領（案）について 4 令和4年度災害等準備金積立金取崩し金助成計画（案）について 5 配分委員会後任委員の選任について 6 役員の選任について	原案のとおり承認 " " " 原案のとおり選任 "
第216回 令和5年3月23日 福祉人材研修センター 出席 評議員 18名 監 事 2名	1 令和4年度共同募金実績及び助成決定（案）について 2 令和4年度補正予算（案）について 3 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について	原案のとおり承認 " "

イ 理事会の開催〔定数 15名〕

【任期：令和3年6月25日から令和4年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第 281 回 令和 4 年 6 月 10 日 福祉人材研修センター 出席 理事 10 名 監事 2 名	1 令和 3 年度事業報告 (案) 並びに決算 (案) について 2 令和 4 年度定時評議員会の開催について 3 評議員後任候補者の推薦について 4 鳥取県共同募金会長表彰の受賞者について	原案のとおり承認 " " "
第 282 回 令和 4 年 7 月 21 日 福祉人材研修センター 出席 理事 10 名 監事 0 名	1 令和 4 年度共同募金助成計画 (案) 及び目標額 (案) について 2 令和 4 年度全国キャンペーンについて 3 令和 4 年度「つかいみちを選べる募金」助成事業取扱要領 (案) について 4 令和 4 年度災害等準備金積立金取崩し金助成事業 (案) について 5 第 215 回評議員会の開催について 6 評議員後任候補者の推薦について 7 評議員選任・解任委員会委員の選任及び委員会の開催について 8 配分委員会委員の選任について	原案のとおり承認 " " " " " " " 原案のとおり選任
第 283 回 令和 5 年 3 月 15 日 福祉人材研修センター 出席 理事 12 名 監事 1 名	1 令和 4 年度共同募金実績及び助成決定 (案) について 2 令和 4 年度補正予算 (案) について 3 令和 5 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について 4 評議員選任・解任委員会委員の選任及び委員会の開催について 5 第 216 回評議員会の開催について	原案のとおり承認 " " " "

ウ 評議員選任・解任委員会の開催〔定数 5名〕

【任期：令和3年6月10日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
令和 4 年 7 月 29 日 【書面開催】	1 後任評議員の選任について	原案のとおり選任
令和 5 年 3 月 23 日 【書面開催】	1 後任評議員の選任について	原案のとおり選任

## エ 配分委員会の開催

【任期：任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
<p>第1回 令和4年7月15日 福祉人材研修センター 出席 委員8名</p>	<p>1 令和4年度共同募金助成計画（案）及び助成計画に基づく目標額（案）について 2 令和4年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦について 3 令和4年度全国キャンペーンについて 4 令和4年度NHK歳末たすけあいスケジュールについて 5 災害等準備金積立金取崩し金助成事業（案）について 6 令和4年度つかいみちを選べる募金助成事業について</p>	<p>原案のとおり承認 8事業を推薦決定 原案のとおり承認 " " "</p>
<p>令和4年9月27日 及び10月4日 出席 委員9名</p>	<p>令和4年度NHK歳末たすけあい助成及び全国キャンペーンに係る申請団体実態調査</p>	<p>9施設を訪問・調査</p>
<p>第2回 令和4年10月21日 上井コミュニティセンター 出席 委員9名</p>	<p>1 令和4年度「つかいみちを選べる募金」助成事業について 2 NHK歳末たすけあい助成基準の取扱いについて 3 令和3年度NHK歳末たすけあい助成申請事業について</p>	<p>5団体を承認 原案のとおり承認 6団体を承認</p>
<p>第3回 令和5年3月10日 福祉人材研修センター 出席 委員10名</p>	<p>1 令和4年度共同募金助成決定（案）について 2 令和5年度の共同募金運動（案）について</p>	<p>原案のとおり承認 "</p>

## オ 監事会の開催

【任期：令和3年6月25日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	監 査 事 項	結 果
<p>令和4年5月27日 福祉人材研修センター 出席 監事2名</p>	<p>1 令和3年度業務及び予算の執行状況 2 令和3年度末における資産の状況</p>	<p>指摘事項なし 純資産の状況 53,896,355円</p>

### (2) 中央、ブロック会議等への参加

中央共同募金会が主催するオンライン会議に参加し、共同募金運動の一層の円滑な運営を図るための情報共有、意見交換に努めた。

また、児嶋会長が中央共同募金委員会における各県の共同募金会を代表する一人として評議員会に出席した。

【任期：令和3年12月15日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

会 議 ・ 研 修		期 日	開催地	出席者
中央会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央共募第196回評議員会</li> <li>中央共募第197回評議員会</li> </ul>	6月17日 3月3日	オンライン 東京	会 長
	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県共募常務理事・事務局長会議</li> <li>〃</li> </ul>	7月14～15日 2月10日	オンライン	事務局長
	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県共同募金会職員研修会</li> <li>都道府県共同募金会新任職員向け研修会</li> <li>都道府県共同募金会「総務・会計担当者会議」</li> </ul>	4月21～22日 4月21日 8月5日	オンライン	職 員
ブロック 会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>中・四国ブロック常務理事・事務局長会議</li> <li>中・四国ブロック職員会議</li> </ul>	中 止	—	—

### (3) 市町村共同募金委員会との連携

#### ア 担当者会議の開催

##### <第1回>

期 日 令和4年8月26日(金) 14:00～15:30  
場 所 上井コミュニティセンター  
出席者数 14市町村・16名  
内 容 事業方針  

- 令和4年度共同募金運動実施について
- 令和4年度共同募金助成計画・目標額について

##### 事務説明

- 令和4年度「つかいみちを選べる募金」助成事業について
- 災害等準備金取崩し助成事業について
- 財務会計システムの運用について

##### 意見交換

- 大量硬貨入金時の取扱手数料について
- 戸別募金の集金方法について
- 災害当準備積立金取崩し金助成事業について

##### <第2回>

期 日 令和5年2月17日(金) 13:30～15:30  
場 所 上井コミュニティセンター  
出席者数 15市町村・17名  
内 容 事務説明  

- 令和4年度の募金実績・助成決定(案)について
- 年度替わりの事務作業について

##### 意見交換

- 歳末たすけあい募金に係る領収書の発行について



## イ 募金運動資材の調達

募金運動資材を次のとおり作成・購入し、運動の効果的な実施を図った。

目的別	資材名	数量	金額(円)
広報	ポスター	1,769枚	42,617
	壁新聞	446枚	12,934
計			55,551
運動啓発	チラシ	190,317枚	502,831
	パンフレット	6,587部	45,218
	ハンドブック	202部	13,040
	依頼状・委嘱状	49,200枚	352,272
	領収書	230冊	103,730
	募金箱など	233個	122,065
	旗布・ステッカーなど	759枚	23,214
計			1,162,370
返礼	赤い羽根(シール式)	260,500枚	405,320
	募金バッジ・ワッペン	14,477個	751,737
	図書カードなど	370枚	226,000
	ボールペン	2,640本	179,640
	クリアファイル	1,390枚	104,232
	組立式募金箱	4,005枚	36,507
	バッグ・ネックストラップ	397枚	121,123
	エイトバン	1,204セット	52,000
	メモ帳	1,200冊	96,000
計			1,972,559
合計			3,190,480

## 2 募金活動の推進

### (1) 募金目標額の設定と募金実績

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、目標額120,876千円(前年対比98.0%)を掲げ、十分な感染対策を講じながら戸別募金や法人募金に取り組むとともに、中央共同募金会が主唱する全国キャンペーンにも参加して募金額の確保に努めたが、募金実績は目標に対し118,551千円(98.1%)に留まった。

(単位：円)

種別	目標額	実績額	達成率	前年度実績額
一般募金	100,000,000	98,106,439	98.1%	99,953,331
地域歳末たすけあい募金	18,076,000	18,060,468	99.9%	18,431,635
NHK歳末たすけあい	2,800,000	2,384,588	85.2%	3,179,100
計	120,876,000	118,551,495	98.1%	121,564,066

## (2) 一般募金の取組み

10月1日から実施した赤い羽根の共同募金運動は、昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり今年が第76回を数える。

助成計画及び募金目標額に基づき地域福祉活動を支援するための募金運動として展開するとともに、中央共同募金会が主唱する全国共通助成テーマとも協調しながら、地域課題である社会的孤立の解消に向けた募金活動を推進した。

また、市町村共同募金委員会での企業・会社訪問のほか、本会としても金融機関7社、一般企業14社を訪問し、法人募金への協力を呼びかけた。

### 【全国共通助成テーマ】

「つながりをたやさない社会づくり ～ あなたはひとりじゃない ～」

## (3) 募金運動の期間拡大の取組み（つかいみちを選べる募金助成）

共同募金運動の推進と活性化のため、平成28年度から共同募金の実施期間が10月1日から翌年の3月31日までの6か月間と定められた。

拡大された3か月の期間において、福祉課題を解決するため地域で活動している団体が、直接、その必要性を広く県民に訴え、助成先を選択して寄付をしていただく募金活動に、本会と協働して取り組んだ。

### 【取組内容】

運動期間：令和5年1月1日～3月31日

実施団体：県下全域で福祉活動を推進している非営利の団体

(単位：円)

団体名	募金事業名	申請額	実績額	助成額
(公社) とっとり被害者支援センター	犯罪被害者等支援事業	1,000,000	577,940	635,000
(特非) こども未来ネットワーク	子どもの笑顔発見プロジェクト2023	300,000	387,390	426,000
とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく”	こども食堂対象文化芸術体験事業	300,000	102,283	112,000
鳥取県腎友会	慢性腎臓病の予防の推進と慢性腎臓病患者への情報発信	300,000	234,060	257,000
(社福) 鳥取こども学園	おたべ食堂(地域食堂)	520,000	83,924	92,000
計		2,420,000	1,385,597	1,522,000

## (4) 税制上の優遇措置の取扱い

租税特別措置法施行令に基づく税額控除に係る証明書(鳥取県知事通知)

〔証明有効期間：令和4年6月17日～令和9年6月16日まで〕

減税措置の周知

- ・募金ボランティアの手引きの作成
- ・企業向け説明資料、チラシの作成
- ・日本海新聞へ掲載(令和4年9月29日)
- ・本会ホームページへ掲載

## 3 寄付金による助成

市町村共同募金委員会に寄せられた募金の70%を地域助成枠として助成し、残りの30%と本会の募金額を加えた額を広域助成枠として、助成計画に基づいて民間社会福祉施設や県域民間福祉団体に対し助成した。

## (1) 助成決定

寄付金の助成は本会配分委員会に諮り、理事会並びに評議員会の承認を経て決定した。

(単位：円)

一般募金	広域助成 (福祉施設、県域団体、つかいみち、等)	13,258,000
	地域助成 (地域福祉活動、福祉施設、NPO、等)	69,020,922
	計	82,278,922
歳末たすけあい募金	地域歳末たすけあい助成	18,030,468
	NHK歳末たすけあい助成	1,600,000
	計	19,660,468
本会・市町村共同募金委員会運動経費		18,769,240
合 計		120,708,630

### ※ 助成金の執行残額の繰越

地域助成枠の決定に当たっては、令和4年度助成事業(令和3年度募金)が新型コロナウイルスの影響を受け一部事業の変更・中止などが生じたことから、それに伴う助成金の執行残額を次年度に繰越して使用することを可能とした。(総額 2,157千円)

## (2) 歳末たすけあい運動

地域・NHK歳末たすけあいの運動を12月1日から1ヵ月にわたって実施した。

地域歳末たすけあい運動による寄付金の助成は、市町村ごとに、年末の時期に実施される地域・在宅福祉サービス事業に対し助成され、またNHK歳末たすけあい運動による助成については、施設利用者の文化活動等の充実のための事業へ助成した。

### ア 地域歳末たすけあい運動

市町共同募金委員会と市町社会福祉協議会等の団体が共催で12月31日まで実施し、これに支援・協力した。

実施市町：17市町共同募金委員会・社会福祉協議会

### イ 第72回NHK歳末たすけあい運動

NHK、NHK厚生文化事業団、中央共同募金会が主催し、本会、NHK鳥取送局、各銀行・農協・漁協・郵便局、他が窓口となって、12月1日から12月25日までの間実施し、6団体に対し助成した。

【助成式】

日 時：令和4年12月27日（火）

会 場：県立福祉人材センター

出席者：助成団体代表 6団体8名、鳥谷部NHK鳥取放送局長、児嶋会長 ほか

内 容：目録の贈呈、お礼の言葉、情報交換会

【対象事業区分 1 文化活動等のための物品購入または地域住民等との交流事業等】

限度額：1事業20万円

基準：4/5以内

(単位：円)

NO	団体名	事業内容	経費内訳	事業総額	助成額
1	社会福祉法人ふれあい 理事長 児玉 雄太  軽費老人ホーム岩井長者寮 (岩美町岩井)	充電式草刈り機とブロワーを使用することで作業前メンテナンスの省力化、広範囲での作業を可能とする。  広範囲の庭を手入れし害虫の増殖・発生を防ぎ、利用者・来訪者が安全に野外活動を楽しむことが可能となる。	草刈り機、ブロワー購入	152,401	120,000

【対象事業区分 2 NPO、ボランティア団体が行う障がい児・者または児童に対する支援事業】

限度額：1事業20万円

基準：4/5以内

NO	団体名	事業内容	経費内訳	事業総額	助成額
2	NPO 法人ねっこ 理事長 山本 英章  ねっこ作業所 (鳥取市南吉方)	当事業所は木製品を製作しているが、製品の品質を保ちながら、効率よく生産が行えるよう機器を整備する。  誰でも容易に製作が行えるよう機材を配置するとともに知識や能力アップを図り、新たな商品開発を目指す。	カッティングマシン整備	232,331	180,000
3	特定非営利活動法人 理事長 榎野せつ子  淀江作業所 (米子市淀江町)	昨年より農産物生産を始めたが農機具や資材、肥料を収納する場所がなく、軒下や玄関等に点在して保管しているため、一括して管理し作業効率を上げるため物置を設置する。	物置設置	311,194	200,000

【対象事業区分 3 福祉団体や施設等の利用者の安心・安全のため緊急に実施しなければならない事業】

限度額：1事業50万円

基準：4/5以内

NO	団体名	事業内容	経費内訳	事業総額	助成額
4	特定非営利活動法人 鳥取県障害者就労事業振興センター 会長 廣田 和幸	積雪時には、ワークコーポとっとり（共同作業場及び共同受注窓口）で作業する障がい者の送迎や作業資材の納品・引き取り用車両の駐車場	除雪機整備	484,000	380,000

	ワークコーポとっとり (事業所：鳥取市商栄町)	を確保するため、スタッフによる人力で除雪している。 作業場を利用する障がい者、出入り業者の安全対策とスタッフの負担軽減のため除雪機を整備する。			
5	NP0 法人 ワークショップ・アクティブ 理事長 竹下 直希  (米子市安倍)	業務に使用するパソコンの処理能力と操作性の向上のため、老朽化した現有機器を更新する。	パソコン及び 関連機器整備	300,851	240,000

【対象事業区分 4 自然災害により被害を受けた施設・事業所に対する緊急を要する修繕等の整備事業】

限度額：1事業50万円 基準：4/5以内

NO	団体名	事業内容	経費内訳	事業総額	助成額
6	特定非営利活動法人 西部ろうあ仲間サロン会 理事長 森田 忠正  (米子市両三柳)	7月に発生したゲリラ豪雨によって屋根がずれてしまい、特に8月20日の大雨により底部分の木材が落下した。 会員及び地域住民が危険なく、この交流拠点に足を運んでいただくため修繕する。	修繕工事	521,000	410,000
計		6団体			1,530,000

(3) 本県出身のハンセン病療養所入所者へのお見舞い

ア ハンセン病療養所の訪問 (岡山県)

日時：令和4年11月14日(月)

会場：邑久光明園、長島愛生園

参加者：10名(配分委員5名、県社協職員3名、事務局2名)

内容：面談(入所者1名、当方3名)、見舞金贈呈、納骨堂参拝、歴史館等の施設視察

イ 見舞金の贈呈

贈呈先	本県出身者数	見舞金額(円)
長島愛生園(岡山県)	3名	30,000
邑久光明園(岡山県)	0名	—
菊池恵楓園(熊本県)	1名	10,000
栗生楽泉園(群馬県)	1名	10,000
多磨全生園(東京都)	1名	10,000
合計	6名	60,000

(4) 災害見舞金の交付

火災及び自然災害により住宅破損又は人的被害を被った県民に対し、市町村共同募金委員会を通じて見舞金を贈った。

(単位：円)

市町村	全 焼		半 焼		半 壊		死 亡		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
鳥取市	2	40,000	2	40,000					4	80,000
米子市	3	60,000							3	60,000
倉吉市	2	40,000					1	10,000	3	50,000
岩美町	1	20,000					1	10,000	2	30,000
智頭町	1	20,000	4	80,000					5	100,000
北栄町	1	20,000					1	10,000	2	30,000
南部町	1	20,000							1	20,000
伯耆町	1	20,000							1	20,000
日南町	1	20,000							1	20,000
合 計	13	260,000	6	120,000			3	30,000	22	410,000

(5) 災害等準備金積立金取崩し金助成状況

ア 「安心・安全なまちづくり支援事業助成」防犯ブザーの贈呈事業

共同募金創設60年を期して設定された全国共通配分テーマ「地域の安心・安全の暮らしを住民とともにつくる活動の支援」を継承し、「安心・安全なまちづくり支援事業助成」として、子ども達の防犯意識の芽生え・意識付けを目的に株式会社FM山陰と協働して鳥取県小学校長会、鳥取県特別支援学校長会へ防犯ブザー計4,615個を贈呈した。

また、併せて保護者向けチラシを作成し募金運動に対する理解と協力の推進を図った。

① 贈呈式

日 時：令和5年4月14日（金）

会 場：県教育長室

出席者：県教委 足羽教育長、山本体育保健課長

FM山陰 小村代表取締役社長、村上鳥取支社長

県共募 児嶋会長、相見配分委員長

内 容：目録の贈呈、お礼の言葉、懇談

② 防犯ブザー 計4,615個

(内訳) 鳥取県小学校長会 4,543個

鳥取県特別支援学校長会 72個

③ 助成額 980,001円

(6) 共同募金以外の寄付による助成

ア 企業等からの寄付

企業等から寄託された共同募金以外の寄付金の受入と助成を行った。

(単位：円)

寄付者	寄付額	助成先	助成額	助成事業
アサヒ飲料(株) (東京都)	100,000	・宮前こども食堂 (南部町宮前)	50,000	こども食堂運営費
		・子どもの応援隊おいでおいで (境港市幸神町)	50,000	
プロゴルフ協議会	200,000	米子聖園コスモス	200,000	母子生活支援施設

## イ 企業からの物品寄付による助成

寄付者	物品寄付	助成先	助成内容	助成額(円)
アサヒ飲料 (株) (東京都)	三ツ矢サイダー 2ケース(500ml×24本入)	宮前こども食堂 (南部町宮前)	三ツ矢サイダー 各4ケース	13,440
	カルピスウォーター 2ケース(500ml×24本入)	子どもの応援隊 おいでおいで (境港市幸神町)	カルピスウォーター 各4ケース 計 8ケース	

## ウ 中央共同募金会を通じた寄付(全国キャンペーン)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて顕在化した課題に取り組む活動を支援したいとして、中央共同募金会に寄せられた寄附金を原資として、全国の共同募金会が協働して取り組んだ。

団体名	受入日	主な使途	種別	原資	内訳(千円)		助成件数
					助成額	事務費等	
日本中央競馬会 (JRA)	R4.3.4	パンデミックの影響を受けて顕在化した課題に取り組む活動	R3 一般	5,000	4,370	事務費 500	30
	R4.4.22		R4 その他	3,000	2,700	災害積立金 130	
計				8,000	7,070	930	
ホーチキ 株式会社	R4.3.18	新型コロナによる生活困窮者の支援を主に	R3 一般	300	300	0	
3 団 体	R4.6.3	児童や新型コロナにより困窮している方々の支援を主に	R4 その他	770	700	0	
		児童虐待防止につながる活動		554 42.	554 42.	0	
		高齢者・要介護者支援を主に		300	300	0	
	計			554 1,112.	554 1,112.	0	
合計				554 9,412.	554 8,482.	930	
緊急助成金〔過年度の助成金戻入額〕						446 17.	

総 合 計	554 9,412.	8,500	930
-------	---------------	-------	-----

【 これまでの経緯 】

〔令和2年度〕

名 称	募集期間	原 資	内 訳 (千円)		助成 件数
			助成額	事務費等	
全国キャンペーン	R2. 5. 18 ~ 9. 30	<u>102</u> 3,985.	3,590	<u>102</u> 395.	19
みんなでエールキャンペーン	R2. 10. 22 ~ R3. 1. 29	<u>021</u> 4,002.	1,830	400	10
合 計		<u>123</u> 7,987.	5,420	<u>102</u> 795.	29
原資の残額は「共同募金（一般）」へ繰入			<u>021</u> 1,772		

〔令和3年度〕

名 称	募集期間	原 資	内 訳 (千円)		助成 件数
			助成額	事務費等	
全国キャンペーン	R3. 4. 1 ~ 6. 30	3,000	2,700	300	14
原資不足し「過年度の助成金戻入額」から繰入			1,050		5
合 計		3,000	3,750	300	19



令和4年度 赤い羽根 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン（全国キャンペーン）助成一覧  
 (単位:千円)

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
①	更生保護法人 鳥取県更生保護給産会 [更生保護施設]	理事長 霧村 哲男	更生保護施設 〒680-0824 鳥取市行徳3丁目815	コロナウイルスまん延防止を施設内で行うための物品購入 【衛生資材の購入】	489	480	更生保護施設で生活する養生や就業している職員のコロナウイルスまん延防止のため、助成金を活用してスタンド式の体温測定器、加湿空気清浄機、加湿器、また食堂・事務所で使用するパーティションを購入する。 ・非接触温度感知カメラ 1台 ・パーティション 卓上用3枚、受付用1枚、机上用10枚 ・加湿空気清浄機 18畳用2台、23畳用1台
②	特定非営利活動法人あおぞら (就労継続支援B型事業所) [放課後等デイサービス]	理事長 瀬田 智子	あおぞら 〒683-0804 米子市米原一丁目7-1	新型コロナ感染症対策のためのリモートWEB研修促進整備事業 【情報機器整備】	145	140	コロナ禍により対面での研修会等がすべてリモート開催となっている。しかしながら現有機器は10年前の機種のため、不具合がたびたび発生し十分な対応ができない。 そのため、リモート研修に十分対応できる環境を整備するとともに、製作している手芸品のネット販売など、新たな販路拡大にもつなげたい。 ・カメラ付きノートパソコン 1台
③	東郡家地区まちづくり委員会 [まちづくりカフェ]	委員長 山根 張太郎	〒680-0422 八頭郡八頭町門尾31-1	ふれあいの里たからまちづくりカフェ事業 【健康運動器具整備】	630	200	コロナ禍により外出機会が減少し、高齢者だけでなく子ども達のロコモティブシンドローム(運動機能の低下)が懸念されている。 そのため、年齢・障害の有無・性別などの違いを超えてすべての人が一緒に楽しめるスポーツ「ポッチャ」を取り入れることにより、健康被害を防止するとともに、小学校・保育所・障がい者施設など巻き込んだ地域交流を展開する。 ・「ポッチャ」用具 一式 ※利用料 400千円=@150円×40名×51回
④	特定非営利活動法人 ワークショップ・アクティブ (就労継続支援B型事業所)	理事長 竹下 直希	ワークショップアクティブ 〒683-0846 米子市安倍129-7	障がい者就労継続支援活動における新型コロナウィルス感染症対策事業 【衛生設備整備】	520	500	設置後20年を経過した空調機器の劣化により、冷暖房能力、換気能力の低下が著しく利用者の体調管理に苦慮している。 特に、体調維持に注意が必要な内疾患のある利用者が複数名いることから、換気機能を有する空調設備を早期に更新したい。 ・天井据付型エアコンの更新 一式
⑤	特定非営利活動法人 さざなみ作業所 (就労継続支援B型事業所)	理事長 河越 忠志	さざなみ作業所 〒680-0804 鳥取市田島814	新型コロナ感染症対策のための機器整備事業 【衛生設備整備】	550	500	設置後29年を経過した空調機器の劣化により、異音が発生し冷暖房能力も著しく低下している。 修理のための部品が既にメーカー側になく、適切な管理も不可能な状態となっている。 このため、コロナ対策を徹底するためにも換気機能を有する空調設備に早期に更新したい。 ・天井据付型エアコンの更新 一式

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
⑥	下私部地区まちづくり委員会 [まちづくりカフェ]	委員長 岡森 裕	〒680-0435 八頭郡八頭町大坪69-1	地域の小学生を対象とした勉強会及び高齢者との交流会 【衛生設備整備】	220	200	夏休み期間など活用して小学生の学習支援や地域の高齢者との交流事業を実施している。 毎回、多くの参加者があることから、一層の感染対策を徹底するため、非接触型検温器とハンドスプレーが一体となった機器を整備するとともに、消毒の効率を上げるための電動ガンスプレーなどを購入したい。 ・非接触型検温器 1台 ・電動ガンスプレー 1台 ・ケーブル等 一式
⑦	特定非営利活動法人 ライフサポートともだち (放課後等デイサービス)	理事長 青砥 綾生	キッズクラブともだち 〒689-4115 西伯郡白鷹町小町313-8	利用児童の療育・学習面の向上を図るための事業 【情報機器整備】	343	340	コロナ禍を主な要因に学校現場でのオンライン学習が盛んに取り入れられ、子どもたちにタブレット端末が配布されている。 障がい児にとってもタブレット端末を使った学習は、楽しみつつ苦手なことや特性をサポートしながら学べるツールとして有効であり、療育を行う上での必要性が認められることから、汎用型タブレットを購入したい。 ・タブレット端末 6台 プロジェクター 1台
⑧	特定非営利活動法人 このゆびとまーれ (放課後等デイサービス、生活介護、ケアホーム ほか)	理事長 藤原 美江子	このゆびとまーれ 〒680-0911 鳥取市千代水一丁目37	日中、放課後に通ってくる地域豊度障がい児者の支援及び住まいの支援 【衛生機器整備】	172	170	重度の障がい児・者が過ごす放課後等デイサービス事業所、障がい福祉サービス事業所(ケアホーム等)を運営している。 事業所利用者の多くは医療行為(気管切開、経管栄養、酸素吸入、導尿等)が必要な者である。 ハイリスクな利用者を新型コロナウィルス感染症から守るため、施設内の活動スペースを定期的に消毒・除菌しているが、経費負担がかかっている。 このため、水と電気により除菌水の生成が可能となる機器を整備したい。 ・オゾン水生成器 4台
⑨	鳥取県重症心身障害児(者)を守る会	会長 伊井野 一郎	〒689-2312 東伯郡琴浦町金屋343 中原 正 様方	障がいのある子供たちの生活を有意義にするための研修会 【研修会開催経費】	85	80	重症心身障がい児(者)、医療的ケア児など様々な困難を抱える家族とその支援者等を対象に、コロナ禍にあっても生きいきと暮らすことができる術を共に学び、日々の暮らしを有意義に過ごせるようにするための研修会を開催する。 ○講師 下川和弘先生(NPO法人地域ケアさびーと研究所 理事)
⑩	県民総合福祉大会実行委員会	委員長 藤井 嘉臣	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	県民総合福祉大会 (衛生機器整備)	198	190	新型コロナ感染症が拡大した令和2年度及び3年度は、その影響から書面開催とせざるを得なかったが、本年度は感染拡大が収束したとは言えないものの、一時のように感染者が著しく増加している状況にはない。 これらのことから、実行委員会としては3年ぶりに集合での開催を予定しているが、参加者が約1,500人と多数であり、また会の運営上、開始前後と閉会前後に参加者が集中することから三密を回避する必要がある。 このため、高精度のモニタ型体温測定機を設置し人流を円滑にすることにより混雑を回避して、感染予防対策を徹底した安全な大会運営としたい。 ・モニタ型A1サーマルカメラ 2台

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
⑪	一般社団法人 鳥取県手をつなぐ育成会	会長 大谷 喜博	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	楽しむ・考える・話し合う ～本人たちの交流と、 保護者・支援者の地域 活動のひろがり支援～ 【情報機器整備】	205	200	コロナ禍により研修会、交流会などがオンラインに切り替わってきたが、会員やその家族は障がいの特性のため外出を控えたり、IT端末に関する知識や操作技術が追いついていないため、受動的な姿勢での参加にとどまっている。 しかしながら、オンラインでの研修会や交流会を通じて相互の資質向上を図り、活動の輪を地域、県内へと広げることが大変重要であると考えられる。 このため、オンラインに対応できる機器を整備し、障がい者の情報通信技術の利用拡大や活用能力を図ることにより、情報アクセシビリティや情報バリアフリーを推進し、障がい者の主体的な活動や社会参加の促進につなげたい。 ・ノートパソコン 1台 WEBカメラ 1台
⑫	鳥取県民主医療機関連合会	会長 中田 幸雄	〒680-0833 鳥取市末広温泉町211 レインポーターセンター別館2階	新型コロナウイルスの 感染拡大をきっかけ に、生活に困難を抱える 人々を支援する食糧 支援活動「食料無料 市」 【食材購入】	600	200	コロナ禍の影響を受けた様々な世代を応援しようと、コメなどの主食の食材セットと野菜などの食料を配布する「食料無料市」を、県内の公営住宅の住民を対象に昨年12月から4か所で開催してきた。 今後も、ひとり親や低年金高齢者、老々介護の世帯などを対象に食材を届ける活動を継続するため、コメや乾麺、野菜などを購入する経費に対し助成していただきたい。【その他の財源：自己財源 300千円、寄付金 100千円】
⑬	社会福祉法人鳥取こども学園	理事長 藤野 興一	おたべ食堂 (旧立川こどもクラブ) 〒680-0061 鳥取市立川町5丁目417	おたべ食堂における衛生 資材整備及び食材購入	500	500	コロナ禍により「会食」でのこども食堂を開催できないため、令和2年2月から「弁当配布」に切り替えて実施している。 今後は感染状況を注視しつつ、感染リスクを適切に管理しながら「会食」での再開を予定している。(毎月第2木曜日⇒第2・第4木曜日) については、3面式パーティションの設置により感染防止対策を徹底するとともに、食事提供に必要な食材の購入費に対して助成していただきたい。 ・ウイルス対策アクリル板(3面式) 25個 ・食材費 100人×9月(2回/月)
⑭	一般社団法人 鳥取県母子寡婦福祉連合会	理事長 井田 智子	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	ひとり親家庭交流ほっと カフェ事業 【交流会開催】	120	110	コロナ禍の影響により、就労環境が激変し収入が減少したり、外出の自粛が求められるなど、生活に困難を感じストレスを抱えているひとり親世帯が増加している。 このため、そんな親子がつかの間でも笑顔で過ごし、楽しかったと思える体験を実施するため、その経費に対して助成していただきたい。 ・ほっとカフェ事業 ・ボランティアと共に過ごす体験 など
⑮	丹比地区まちづくり委員会 (まちづくりカフェ)	委員長 小谷 知哉	〒680-0607 八頭郡八頭町徳丸578-1 八東保健センター内	花植え・育成・観賞を 通したつながりづくり ・社会交流・高齢者の フレイル予防活動	110	100	コロナ禍により地域との関わりがなくなり孤立や孤独が懸念されることから、活動拠点である八東保健センターを会場に、地域住民に参加を呼び掛け「春咲き花の球根を植える交流会」を開催したい。 鉢植えは参加者自身が持ち帰って世話をし、手入れや成長の様子を撮影するなどして活動のなかで話題にしながら、春の開花を目指す。 また、地域の小学校へメッセージと共に鉢植えを届け、地域で春の開花を楽しみに待ちながら新たなつながりづくりへと発展させたい。 ・球根、腐葉土、植木鉢、シャベル など(70鉢分)

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
⑯	特定非営利活動法人 大山綿の花	代表 荒田 楠	〒683-0054 米子市花町2丁目44	地域のおとなや子ども への居場所提供&リク エストを叶える体験事 業	200	200	コロナ禍で外出が制限されている子どもたち、家庭環境や経済的な理由から自然と触れ合う機会の少ない子どもたちに、自然遊びや地域の大人と触れ合う楽しさを感じてもらえるような機会を提供する。 ○主な活動 夏(8月):水遊び・釣り・カニ取り・貝拾い 秋(11月):栗拾い・紅葉狩り 冬(2月):雪山歩き・竹ざり作り・そり遊び ○活動経費 ・保険料、材料費、食材費、講師謝礼、広報費
<b>合計【第1次】</b>					<b>5,087</b>	<b>4,110</b>	
①	特定非営利活動法人 楽 (就労継続支援B型事業所) (生活介護)	理事長 井手添 敬子	コミュニティーハウス 楽 (多機能型事業所) 〒682-0022 倉吉市上井町1丁目12	新型コロナウイルス感染症対策 のためのリモートWEB 研修促進構築事業 【情報機器整備】	214	200	コロナ禍により対面での研修会等がすべてリモート開催となっている。 しかしながら現在は業務用パソコン1台のみのため、通常業務に支障が出てしまっている。 このため、リモート研修等専用の機器を整備することにより、職員の資質向上と業務効率の向上を図りたい。 ・カメラ付きノートパソコン 1台
②	特定非営利活動法人 幸伸 (就労継続支援B型事業所)	理事長 岡本 貴晃	レゴリス旗ヶ崎 〒683-0854 米子市旗ヶ崎7丁目11-27	新型コロナウイルス感染症対策 のための機器整備事業 【衛生設備整備】	195	190	感染対策として検温・手指消毒の徹底、空気清浄機の設置など利用者の体調管理に努めているが、検温はその都度リセット操作が必要であり、また手指消毒も手動のため、どうしても混雑が起きてしまう。 このため非接触型検温器と手指消毒とが一体となったスタンド型検温器を整備することにより、さらなる感染予防対策の向上を図りたい。 なお、事業所が3か所に分散しているためそれぞれに設置したい。 ・非接触型検温器(自動消毒噴霧器付) 3台
③	特定非営利活動法人 さざなみ作業所 (就労継続支援B型事業所)	理事長 河越 忠志	さざなみ作業所 〒680-0804 鳥取市田島814	新型コロナウイルス感染症対策 のためのトイレ洋式化 改修 【衛生設備整備】	373	370	男性利用者用トイレが和式のため、障がいの程度により利用が難しい者もいる。 また、蓋がないことから使用後にウイルスの飛散も考えられるなど、安全面・衛生面から早急に洋式トイレに改修改善を図りたい。 ・洋式トイレへの改修 1か所
④	特定非営利活動法人 とっとり未来 (就労継続支援B型事業所)	理事長 坂口 愛子	とっとり未来 〒680-0845 鳥取市富安1丁目77	新型コロナウイルス感染症対策 のための機器整備事業 【衛生設備整備】	167	160	感染対策として検温・手指消毒の徹底、室内の換気など利用者の体調管理に努めているが、検温は手動式とその都度リセット操作が必要であり、また手指消毒も手動のため、どうしても混雑が起きてしまう。 このため非接触型検温器と手指消毒とが一体となったスタンド型検温器を整備するとともに、空気清浄機とサーキュレーターを整備することにより一層の換気に努め感染予防対策の向上を図りたい。 ・非接触型検温器(自動消毒噴霧器付) 1台 ・空気清浄機 1台 ・サーキュレーター 3台

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
⑤	社会福祉法人 光生会 〔障害者支援施設〕 〔就労継続支援 B 型事業〕	理事長 鎌田 真治	米子ワークホーム ワークなぎら 〒683-0021 米子市石井1223-1	新型コロナ感染症予防 対策のための環境整備 事業 〔衛生設備整備〕	328	320	新型コロナウィルス感染症予防対策として除菌剤を散布し拭いているが、さらに効果的な散布が可能となるスプレーヤーを導入することにより、利用者が安心して作業・食事ができる環境を整える。 ・ハンドスプレーヤー 2台 ・除染洗浄剤 2箱
⑥	社会福祉法人 大徳会 〔経費老人ホーム〕	理事長 吉田 明正	経費老人ホーム玉真園 〒689-3226 西伯郡大山町大塚717	オンライン地域交流事業 〔情報機器整備〕	530	500	コロナ禍のため地域交流や家族との面会に制限がある中、利用者にとってオンラインによる観光地巡りや祭りの見学、水族館や動物園等の映像を鑑賞することが大きな楽しみとなっている。 このため利用者が密になることなく画面で映像が見られるようプロジェクター（投射機）を整備し、感染対策を十分にとりながら利用者の要望に応えることにより処遇の向上に努めたい。 ・プロジェクター（投射機） 1台
⑦	社会福祉法人 慶愛会	理事長 浅田 明枝	大山やすらぎの里 〒689-3333 西伯郡大山町唐王208	地域住民の健康力アップ及び引きこもり防止のための元気アップ教室・健康クラブ 〔運動用器具整備〕	291	290	地域住民の健康力アップと新型コロナウィルス感染症の流行により閉じこもりがちになった住民のために、憩いの場の提供を目的とした体操教室や手芸教室等を実施している。 地域の公民館での出張運動教室を開催するために必要となる運動用具（ユニット式会議テーブル）を整備し、少しでも住み慣れた自宅で過ごせるよう活動を継続したい。 なお、本事業は生活習慣病の方が多く保険料も高い地域であったことから、当時の大山町が始め、その後本法人が引き継いで実施しているもの。 ・運動用具（ユニット式会議テーブル） 6台
合 計【第2次】					2,098	2,030	
①	特定非営利活動法人 さざなみ作業所 〔就労継続支援 B 型事業所〕	理事長 河越 忠志	さざなみ作業所 〒680-0804 鳥取市田島814	リモートWEB研修促進 構築事業 〔情報機器整備〕	181	180	コロナ禍により対面での研修会等がすべてパソコンを通してのリモート開催となっている。 現有機器は業務用パソコン1台のみのため、受講のたびに通常業務に支障が出てしまう。 このため、リモート研修等専用のパソコンを整備することにより、職員の資質向上と業務効率の向上の両立を図る。 ・カメラ付きノートパソコン 1式
②	社会福祉法人 手をつなぐ福祉会 〔就労継続支援 B 型事業所〕	理事長 小谷 輝美	かめの会作業所 かめのパン屋さん 喫茶レインボウ 〒680-0912 鳥取市栄町203-11	新型コロナ感染症対策 構築事業 〔衛生設備整備〕	124	120	感染対策として検温・手指消毒の徹底、空気清浄機の設置など利用者の体調管理に努めているが、検温はその都度リセット操作が必要であり、また手指消毒も手動のため、どうしても混雑が起きてしまう。 このため検温器と手指消毒とが一体となった検温器を整備することにより、感染予防対策の向上を図る。 ・非接触型検温器（自動消毒噴霧器付） 2台

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
③	一般社団法人 はまゆう 〔就労継続支援 B 型事業所〕	代表理事 若原 紀子	はまゆう 〒684-0052 境港市妻垣町85-5 (水木しげるロード)	新型コロナ感染症対策 構築事業 〔情報機器及び衛生設備整備〕	275	270	研修会等がすべてリモート開催となっているが、現有機器は業務用デスクトップパソコン1台のみのため、通常業務に支障が出てしまう。 このため、リモート研修等専用のパソコンを整備することにより、職員の資質向上と業務効率の向上の両立を図る。 ・カメラ付きノートパソコン 1式 感染対策をより徹底するため、非接触型検温器と手指消毒とが一体となったスタンド型検温器を整備する。 ・非接触型検温器（自動消毒噴霧器付） 1台
④	公益社団法人 鳥取県老人クラブ連合会	会長 岡森 裕	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	「とっとり方式認知症 予防プログラム」普及 啓発事業 〔情報機器整備〕	385	380	高齢者の健康づくりや仲間づくりを目的として研修会を県内各地で開催していたが、コロナ禍により集合形式での実施や講師等の派遣が難しい状況にある。 このため ICT を利用することによりオンラインで開催し、地域の高齢者のフレイル予防や認知症予防のための活動を継続する。 ・ノートパソコン 1台、WEB専用カメラ 1台、マイクスピーカー 1台
⑤	鳥取県介護支援専門員連絡協議会	会長 石田 良太	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	介護支援専門員の知識・技術向上のための 研修会 〔情報機器整備〕	484	480	会員の知識・技術の向上を目的に、県内外から講師を招き研修会を開催していたが、コロナ禍により対面での開催が困難となった。 また、初任段階の会員を対象に知識と経験豊富な主任ケアマネを派遣し、資質向上のための研修会を開催していたが同様に難しくなった。 このため、リモート研修等専用の機器を県内3か所の支部に整備し、オンラインによる職員の資質向上と業務効率の向上を図りたい。 ・カメラ付きノートパソコン 3台
⑥	特定非営利活動法人 楽 〔就労継続支援 B 型事業所〕 〔生活介護〕	理事長 井手添 敬子	コミュニティハウス 楽 〔多機能型事業所〕 〒682-0022 倉吉市上井町1丁目12	新型コロナ感染症対策 (密回避)のための作業 室改装事業 〔作業環境整備〕	601	500	利用者が作業を行う部屋が1階と2階にあるが、2階が和室のため座席での作業となることから、利用者が1階に集中してしまう。 このため、2階をフローリングに改修することにより密な状態となることを解消する。 併せて、作業用のいすも整備する。 ・床改修 1式、椅子 12脚
合 計【第3次】					2,050	1,930	
①	社会福祉法人鳥取県厚生事業団 障害福祉サービス事業所 すずかけ 〔就労継続支援 B 型事業所〕	所長 小谷 昭男	障害福祉サービス事業所 すずかけ 〒689-0425 鳥取市鹿野町今市1550	新型コロナ感染症対策 のための機器整備事業 〔衛生設備整備〕	419	410	新型コロナウィルス感染症予防対策として、利用者が一度に集まる食堂にだけは空気清浄機を設置しているが、多くの時間を過ごす作業室には設置できていない。 この冬は新型コロナだけでなくインフルエンザの流行も懸念されている。 このため3か所の作業室に空気清浄機とサーキュレーター、さらに事務室にサーキュレーターを設置することにより、感染防止対策の徹底を図る。 ・空気清浄機 5台 ・サーキュレーター 4台
合 計【第4次】					419	410	
總 合 計					9,654	8,480	

#### (7) 助成事業の調査

NHK歳末たすけあい助成及び全国キャンペーン助成を決定するに当たり、申請内容について現地においてヒアリングを行い、事業計画の必要性の確認、緊急性等の把握などに努めた。

現地調査：令和4年9月27日及び10月4日

調査対象：9団体（東部 3、中部 2、西部 4）

### 4 広報・啓発活動の推進

共同募金運動の趣旨の理解を得るため、開始にあたっての広報、寄付金の使途についての周知等、年間を通じて広報活動に努めた。

#### (1) 初日行事・赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式の実施

日 時：令和4年10月1日（土）10:00～10:30

場 所：鳥取砂丘コナン空港 コナンホール

内 容：ANA（全日本空輸(株)）の協賛、鳥取市共同募金委員会との協働により「第61回赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式」を開催し、厚生労働大臣、中央共同募金会長のメッセージの伝達を受けた。

#### (2) 街頭募金の実施

初日行事に引き続き、鳥取市共同募金委員会とともに丸由百貨店入口において街頭募金を実施し、他の市町村共同募金委員会においても県内各所で、3密を避けるなど感染対策に配慮しながら街頭募金活動を実施した。

#### (3) 「募金ボランティアの手引き」の作成

地域での募金ボランティアに対し共同募金運動の趣旨、運営、組織、使いみち、税制上の優遇措置について理解促進のため、要点をまとめた手引きを作成し配布した。

作成部数 3,910部

#### (4) 戸別配布用チラシの作成

「令和3年度共同募金結果報告・令和4年度募金依頼」チラシを作成し、県内各世帯に配布した。また、裏面に市町村共同募金委員会の募金計画、地域福祉事業助成金の使途状況を掲載し、募金運動の理解が一層進むよう努めた。

作成部数 190,150部

#### (5) 報道機関へテレビ・ラジオスポット放映・放送の素材提供

中央共同募金会が作成した広報資材を各報道機関へ提供するとともに、放映・放送の協力を依頼した。

報道機関 テレビ局7社、ラジオ局1社、県遊技業協同組合

#### (6) 地方新聞紙面への広告掲載

共同募金運動の普及、助成の公表並びに県民への幅広い呼びかけを行うため、日本海新聞に広告を掲載した。

令和4年4月29日 令和3年度共同募金へのお礼並びに実績報告（全5段広告）

令和4年9月29日 新日本海新聞社の協力による協賛による広告掲載（全5段広告）

令和4年度共同募金運動への協力依頼

令和4年度共同募金目標額、助成事業紹介など

#### (7) 赤い羽根データベース「はねっと」の活用

共同募金会助成金の活用事例や助成事業について、写真や受給者からの感謝のこぼなどを

掲載し、寄付者等に対する情報公開に努めた。

#### (8) 助成結果の公表

被助成施設・団体に対してPR活動並びに運動への協力を要請するとともに、寄付金助成により事業を実施したことの公表及び表示の徹底に努めた。

- ・赤い羽根共同募金助成表示・周知について「助成表示要領」の配布
- ・赤い羽根シール等助成表示資材の配布

#### (9) その他

- ・ホームページにおいて助成申請の案内、募金実績の報告、税制上の優遇措置などを広報
- ・県庁前電光掲示板への広報掲示
- ・県市町村社会福祉協議会発行の広報紙へ運動結果等を掲載
- ・共同募金ポスターパネル、募金箱等の貸出

### 5 企業との連携強化

#### (1) 自動販売機を活用した募金寄付

##### ア 自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置

設置台数：4台（福祉人材研修センター、小波浜自治会、ビーハート中海営業所、大山ガーデンプレイス）

募金実績：86,501円（令和3年11月～令和4年10月）

##### イ 「鳥取県共同募金会支援自動販売機」の設置(株式会社戸信)

売上げの一部が寄付となる共同募金会支援機能付き自動販売機を設置

設置台数：8台（鹿野町総合福祉センター、(株)清水、倉吉福祉センター、稲葉山地区公民館、生涯学習センター(2)、城北地区公民館、豊美地区公民館）

募金実績：62,613円

#### (2) ANAによる募金箱の設置協力

ANA（全日本空輸(株)）の協力により、鳥取・米子空港及び空港内店舗に募金箱を設置するとともにポスターを掲示し、共同募金運動の広報に努めた。

(単位：円)

協力企業名	金額
全日本空輸株式会社鳥取空港所	—
全日本空輸株式会社米子空港所	3,100
ANAFESTA株式会社鳥取店	275
ANAFESTA株式会社米子店	878
計	9,472

### 6 災害等準備金及び災害たすけあい運動

#### (1) 災害等準備金の運営

募金実績の3%を3年間積み立て、災害救助法が適用される大規模災害の発生に対応した。なお、準備金は4年目に取崩し助成要綱に基づく事業に助成する。

##### ア 災害等準備金積立状況

令和4年度積立額 3,500,000円

令和3年度末総積立額 14,720,000円(令和元年度～令和3年度積立分)

## イ 豪雨災害等に係る災害等準備金の抛

被害が甚大であった関係県の被災地におけるボランティアセンター立上げ等の経費として、中央共同募金会を通じて災害等準備金積立金を取り崩して抛することとしているが、令和4年度は該当がなかった。

### (2) 義援金の取り次ぎと送金

大雨等の自然災害による義援金の募集に応じ、市町村共同募金委員会を通じて義援金の取りまとめと被災県への送金を行った。

(単位：円)

義 援 金 名	金 額
平成30年7月 広島県豪雨災害	
令和2年7月 熊本県豪雨災害	
令和4年3月 福島県沖地震	
令和4年7月 宮城県大雨災	
令和4年8月 青森県大雨災害	
令和4年8月 福井県大雨災害	
令和4年 静岡県台風15号災害	
合 計	143,188

## 7 顕彰事業

県共同募金会長並びに県知事から表彰状を贈呈した。

なお、令和4年度県民総合福祉大会は新型コロナウイルスの影響により、書面開催となった。

### (1) 県共同募金会会長表彰

奉仕功労者（5名）

都田聖人氏、三好伸作氏、畠中 昭氏、植田篤文氏、早川輝彦氏（以上、境港市）

協力団体・地区（2団体）

県立倉吉養護学校、社会福祉法人みのり福祉会 障がい者支援施設サンジュエリー  
（以上倉吉市）

従事者（1名）

富田美智子氏（江府町）

特別表彰（1名）

杉浦為佐夫氏（鳥取市）

### (2) 県知事表彰（1団体）

共同募金運動奉仕功労団体 社会福祉法人希望の家（倉吉市）

### (3) 厚生労働大臣表彰（1団体）

共同募金運動奉仕団体 上井地区民生児童委員協議会（倉吉市）

## 8 民間資金助成事業への協力

### (1) (公財) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦

交付枠：6,350千円 助成成件数：8団体

(単位：千円)

法人・施設名	内 容	推薦額	決定額
更生保護法人 鳥取県更生保護給産会	食堂用家電の購入	960	960
社会福祉法人ふれあい 岩井長者寮	浴槽の改修工事	200	200
社会福祉法慶愛会 大山やすらぎの里	屋上の防水工事	1,100	1,100
社会福祉法人みその児童福祉会 米子聖園コスモス	心理室への改修工事	1,070	1,070
社会福祉法人希望の家 希望の家	オストメイトの設置工事	470	470
社会福祉法人まつぼっくり まつぼっくり事業所	食堂床の修繕工事	450	450
社会福祉法人日南福祉会 デイサービスセンターあかねの郷	送迎車両の購入	1,000	1,000
社会福祉法人いずみの苑 いずみの苑	送迎車両の購入	1,100	1,100
計		6,350	6,350

# 令和4年度事業報告書付属明細書

(事業報告書を補足説明する重要な事項)

I 法人運営の状況 該当なし

II 事業実施の状況 該当なし